

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和4年8月2日（火）11時00分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、星上席技術研究調査官、佐藤管理官補佐、佐藤室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

（テレビ会議システムによる出席）

燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者4名

プール燃料取り出しプログラム部 担当者3名

5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、東京電力福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋燃料交換機遠隔操作室に係る調査の実施状況、採取したスミア試料の分析方法等について、資料に基づき説明があった。

原子力規制庁から、東京電力の説明に関して線量測定の実施状況、スミア試料の採取状況、採取試料の分析予定等について技術的な点を確認するとともに、線量が特に高いと見られている2階操作室奥部の線量測定等が本調査のポイントであるものの施設内の状況から調査が困難である状況を踏まえ、その点に対する別のアプローチ方法等について意見交換を行った。

原子力規制庁から、今後も引き続き連携して進めていけるよう測定状況等について情報提供を依頼し、東京電力から了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 2号機燃料取扱機操作室調査の状況について
- 福島第一原子力発電所にて取得した試料の分析

以上